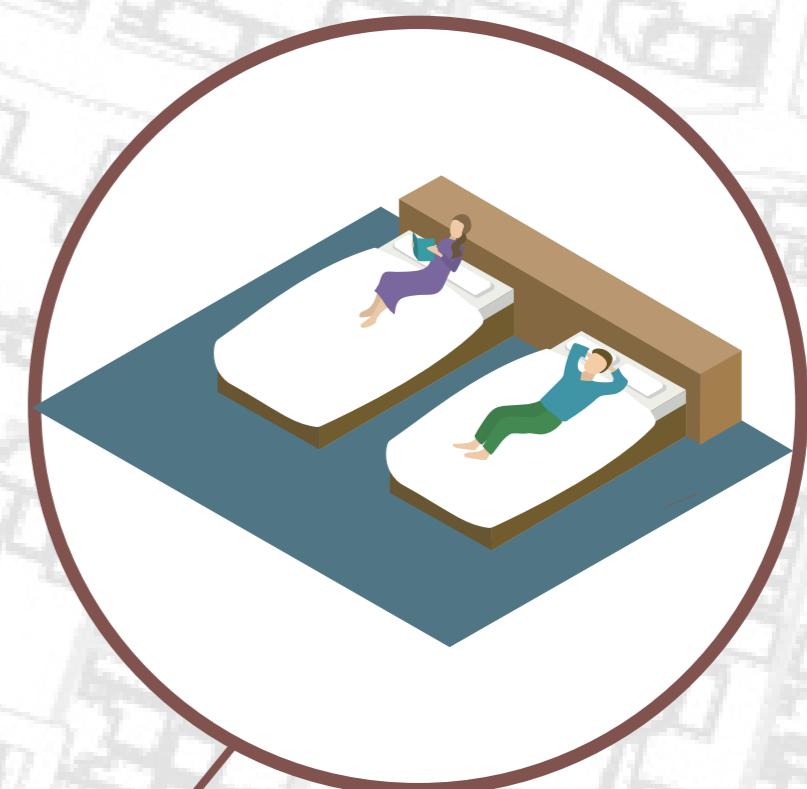


まちの堰となる

人々の幸福とを作るサードプレイスと分散型ホテルの提案

192052 山川莉歩



1.1 敷地概要



敷地：七日町商店街（山形県山形市）
設立：1964年（昭和39年）
店舗数：137店舗

七日町商店街とは集積率・集客力・販売額ともに県内随一の広域型商店街である。近隣には山形市役所、市立病院、中央公民館などの公共施設が多く立地しており、いくつかの小学校や中学校などの通学路にまたがっている賑やかな商店街である。以前より活性化は進んでいるが、閉店する店舗も多く空きテナントが目立つようになっている。

山形県山形市七日町商店街

1.2 コンセプト

まちの堰となる

近年、山形市の郊外に大きなショッピングモールがいくつか作られるようになり、七日町商店街の近隣住民は商店街ではなくショッピングモールを利用することが多くなっている。その為、商店街の店舗は閉店を余儀なくされる所も少なくはない。商店街の活性化は進んではいるものの、以前のような商店街全体の活気は感じられなくなった。「梅花藻」と「津々堰々」は商店街から人や店舗が流出するのを防ぐ場所になっている。川のように様々な場所から流れてきた人々をこの場所で繋ぎ、留めて、新たな居場所となっていく。また、どこに流れていけばわからない人々もこの場所に流れきたら仲間を見つけて、新たな居場所を自分で作っていくことになるだろう。

そして、この場所に人々が溜まり、七日町商店街が人で溢れ、さらに潤っていくことになるだろう。

